

世界で、医学から生まれたベビーカーはアプリーカだけです。

Aprica

シャペロン・ツイン 《取扱い説明書》

ご使用になる前には、よくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書は必ず保管してください。
本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。

このたびはアップリカ製品をお求めいただき、ありがとうございます。

この取扱書には、ベビーカーの正しい取扱い方法と、手入れについての説明がされています。

ご使用になる前には、よくお読みのうえ正しくお使いください。

いざという時のために、本書は必ず保管してください。

また、本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組み等をわかりやすくするため、

現物とは多少異なることがあります。

目	次
使用の前に1	● ストッパーの使い方9
● ベビーカーの特徴1	● 日除けの使い方10
● 各部の名称2	● リクライニングの方法10
使用上の注意	● セーフティガードの使い方11
● 警告3~4	● カゴの使い方11
● 注意5	● ステップの使い方12
禁止事項	● 足のせの使い方12
● 禁止5	● 車体の折りたたみ方13
使用前の点検・準備	お手入れ方法
● 点検6	● アームレストカバーのはずし方14
● 準備6	● シート・股ベルトのはずし方14~16
操作方法	● 縫製品のお手入れ16
● 車体の開き方7	● 車体のお手入れ17
● 腰ベルトの使い方8	アフターサービスについて18
● ハンドルの切り替え方法8	廃棄方法18
● ハンドルの高さ調整8	● 保証基準・保証書18
● キャスターの使い方9	

使用の前に

ベビーカーの特徴

軽量アルミパイプを使用しています。

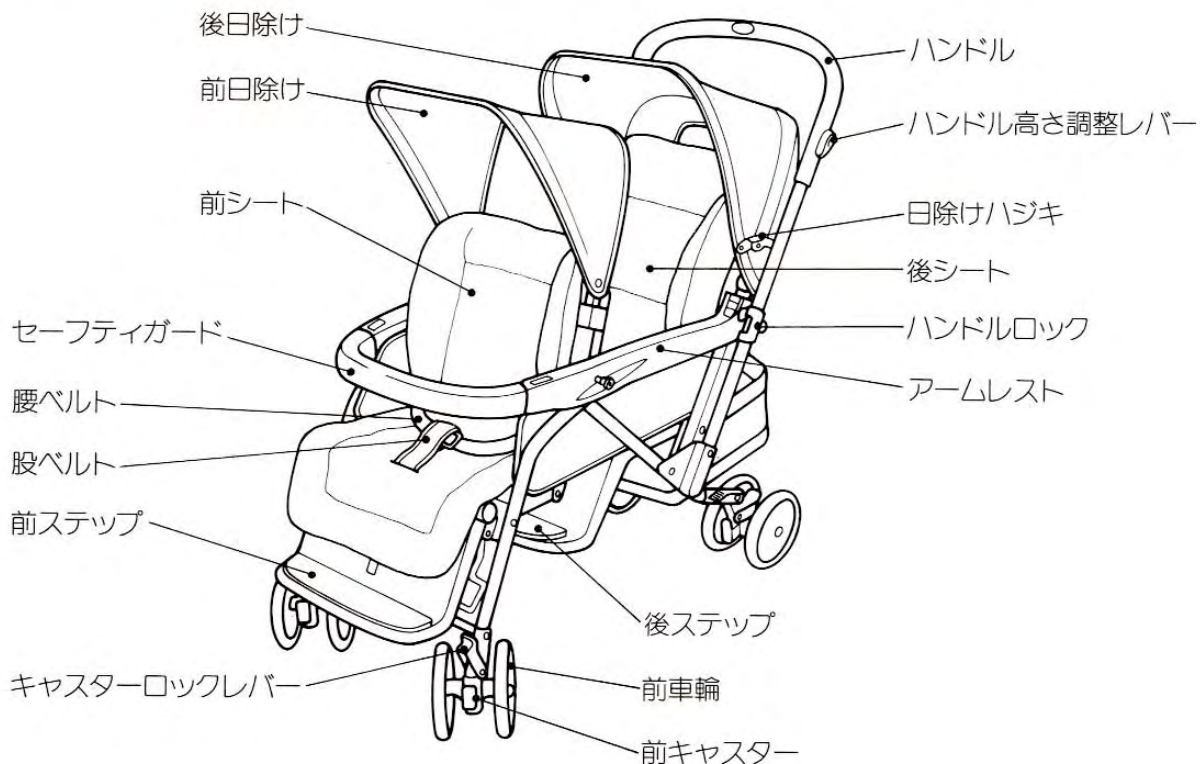
前後折り畳み方式です。

4輪キャスター仕様です。

ハンドル背面・対面式です。

開閉時に自立します。

各部の名称



付属品：取扱説明書

使用上の注意

赤ちゃんのために、お読みのうえ必ず守って
ベビーカーの破損・故障・異常の原因になり



警告

(けいこく)



腰ベルト・股ベルトをはずし
て使用しない。



ベビーカーの中で立たせない。



乳幼児を乗せている時、カゴ
以外のところに荷物を乗せたり、
つるしたりしない。

—— 赤ちゃんが落ち怪我をする恐れがあります。 ——



赤ちゃんを乗せるときやおろ
すときは必ず車輪ストッパー
をかけ、ベビーカーが動かない
ことを確認する。



乳幼児や荷物を乗せた時には、
ストッパーを過信しない。(構
造上、自動車のブレーキのよ
うな安全なものではありません)



赤ちゃんを乗せたままベビ
ーカーを離れない。

—— 坂道などでベビーカーが勝手に走行し、転倒し、怪我をする恐れがあります。 ——

ください。
ますので必ず守ってください。

WARNING



ハンドルによりかかったり、
過度の荷重をかけない。



階段や段差のあるところは使
用しない。

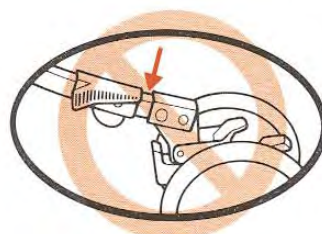
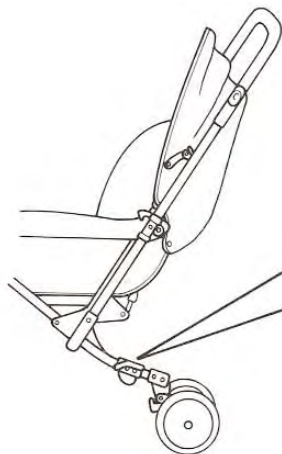


二人の乳幼児を同時に乗せたり、シート以外のところに乗
せない。

ベビーカーが転倒して赤ちゃんが落ち怪我をする恐れがあります。



赤ちゃんを乗せたまま持ち上
げない。



左右の開閉ロックレバーと
後キャスターの間が約10mm
以上ある事を確認する。

赤ちゃんが落ちたり、ベビーカーの折りたたみなどで怪我をする恐れがあります。

必ずお読みください。ベビーカーの破損・故障・異常の原因になりますので必ず守ってください。



注意 (ちゅうい)

CAUTION

- ネジやナット類がゆるんでいないこと。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲り、折れの原因になります。
- 幼児、こどもにもベビーカーを操作させない。
- **ベビーカーの開閉などの操作時には、赤ちゃん、幼児、こどもを廻りに近づけない。**
- **ベビーカーに赤ちゃんを乗せて走行するときは、赤ちゃんのために普通の歩き方（時速約4キロメートル位の速さ）で押す。**
- 体重20kg以上の子供を乗せない。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- セーフティガードに股ベルトを通しての使用は絶対にしない。股ベルトのやぶれの原因になります。
- ベビーカーを砂場や泥水の有るところで走行させない。接続部、回転部に砂等が入り開閉できなくなります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたままで放置しない。スライド部に砂等が入り開閉が難しくなります。
- 踏切では、線路に車輪がとられないように、注意して渡る。
- 雪の日や、路面が凍結しているところでは、使用しない。
- 火の近くに放置しない。樹脂が変形し性能を維持できなくなります。
- その他、ベビーカーの故障の原因となるようなこと。

禁止事項

ベビーカーは、赤ちゃんのためのものです。
次のような使用は絶対にしないでください。



禁止 (きんし)

PROHIBITION

- 当社サービス員以外の分解・組立・改造。
- ネジ、ナット等はずしての使用。
- シートをはずしての使用。
- 荷物等の運搬使用。
- アームレスト、セーフティガードに荷物を乗せての運搬使用。
- **保護者、介添者等が、アームレスト、セーフティガードに腰掛ける。**
- 急激な力を加えたり、落下させた後の使用。
- 子供の遊び道具としての使用。
- その他、赤ちゃんを乗せる以外の目的での使用。

使用前の点検・準備

★当製品は、屋外で赤ちゃん(2人用)のために使用するものです。

★使用前には必ず各部を点検してください。

点 検

●ネジ・ナット

使用前には、必ずベビーカーの内側にナットがあることを確認してください。

●リクライニング

使用前にはシートのリクライニング部分を押し込んでグラツキのないことを確かめてください。

●ストッパー

後車輪のストッパーをあげてロックできることを確認してください。

△注意：ストッパーは、空車のときの使用には、有効であっても乳幼児や荷物を乗せた時の使用には信頼できません。

●前後フレーム

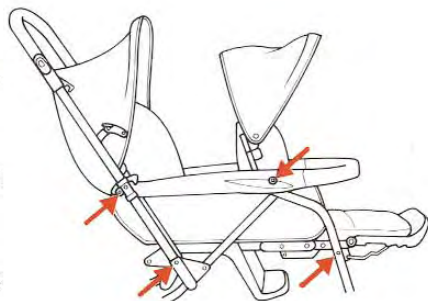
屋外で使用するため、フレームについた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずふきとってください。ふきとりには、よくしぼったぬれタオルを使用してください。

△注意：ふきとりには、シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しない。

●車 輪

屋外で使用するため、車輪についた泥は、そのまま放置しないで必ず落としてください。泥は、水洗いをして泥を落としてから、水分をふきとってください。

△注意：シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しない。

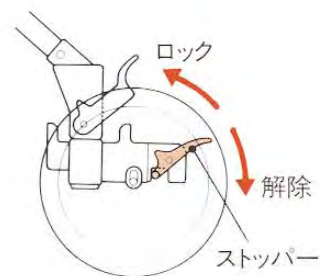


万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受けてください。

準 備

△注意：赤ちゃんを乗せるときには必ずストッパーをかけてください。

- 赤ちゃんを乗せる時は、必ず腰ベルトをしめてください。
- 腰ベルトの長さは、赤ちゃんの成長に合わせて調整してください。
- 腰ベルトの調整は、大人の指4本程度が入るのが適当です。



(差し込み側)

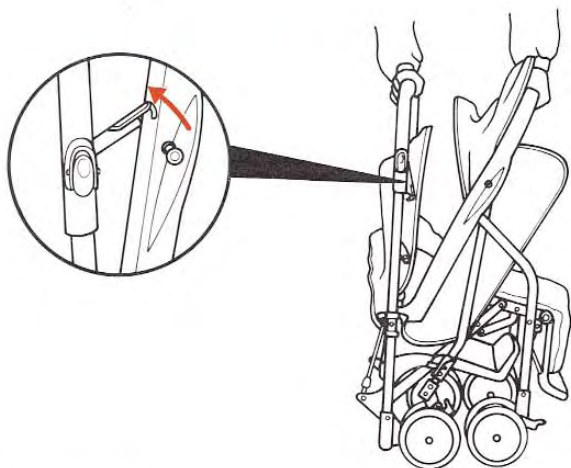
△注意：調整しろ(↔部)は、必ず3cm以上残してください。



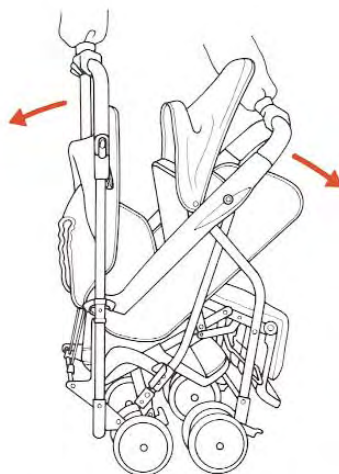
操作方法

★梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。

車体の開き方



① 折りたたみロックレバーをはずします。



② ハンドルとセーフティガードを持ちそのまま、外側へ開きます。



③ ハンドルを下へ押しつけるようにして完全に開きます。

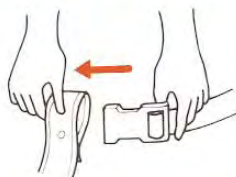
△注意

- 左右の開閉ロックレバーが完全に上ってない場合はもう一度ハンドルを持って、しっかりと下へ押しつけてください。

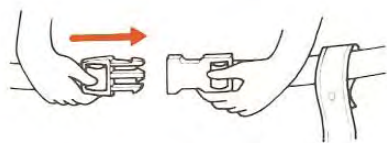
腰ベルトの使い方

△警告:赤ちゃんをお乗せになる場合は必ず腰ベルトをしめてください。

止め方



①股ベルトの輪に、腰ベルトを通します。

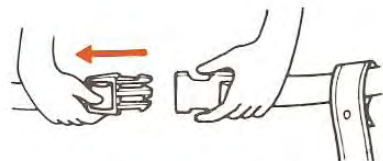


②もう一方の腰ベルトを差し込んでください。

はずし方



①矢印の部分をバックルに押し込みます。

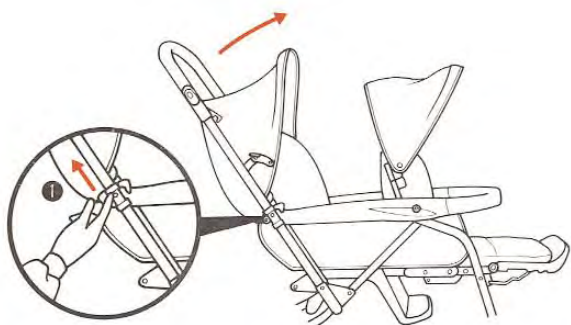


②差し込み側をはずしてください。

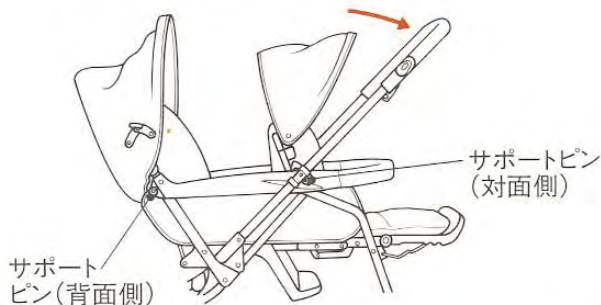
ハンドルの切り替え方法

★対面、背面どちらで使用される場合でもハンドルがロックされているか、ハンドルを前後して確かめてください。

★ハンドルをもどす時も、同じ方法でしてください。



①ハンドルの両サイドについている左右のハンドルロックを上引き上げます。



②ハンドルを前方に倒していき左右のハンドルロックが対面側のサポートピンに入るまで倒してください。

△注意:ハンドル切り替えの時は、赤ちゃんの手や指をはさまないように十分注意してください。

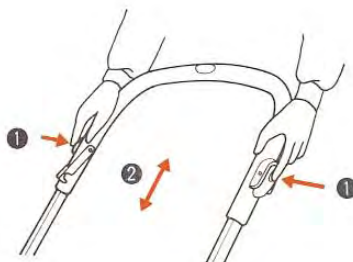
△注意:走行中は切り替えしないでください。

ハンドルの高さ調整

①両手で左右のハンドル高さ調整レバーを押します。

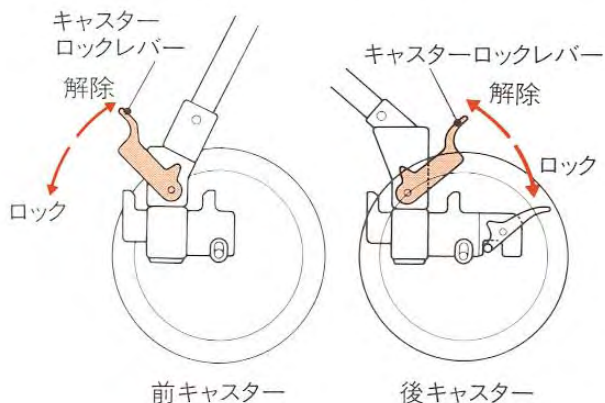
②そのままハンドルを上下させます。

△注意:ハンドルが確実にロックされたか、使用する前にハンドル部分を上下に動かして必ず確かめてください。



キャスターの使い方

- キャスターロックは左右とも同じように操作します。



- ⚠注意：折りたたむときは、前後左右ともキャスターを上図の方向にロックしてください。

- ⚠注意：凸凹道等での走行には、前後左右のキャスターロックをした方が有効です。

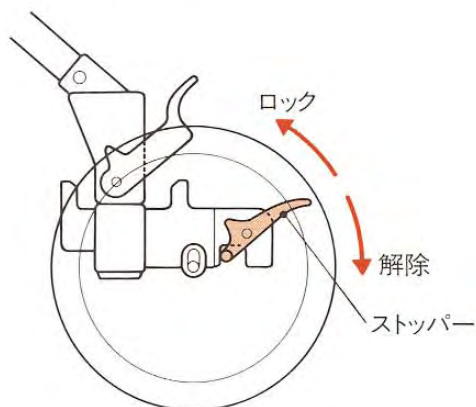
	背面走行の場合	対面走行の場合
平坦道	<p>進行方向 ←</p> <p>解除 固定</p>	<p>進行方向 ←</p> <p>解除 固定</p>
坂道、凸凹道等	<p>進行方向 ←</p> <p>固定 固定</p>	<p>進行方向 ←</p> <p>固定 固定</p>
	<p>進行方向 ←</p> <p>固定 固定</p>	<p>進行方向 ←</p> <p>固定 固定</p>

⚠注意：進行方向の車輪位置では固定しないでください。

ストッパーの使い方

- ⚠警告：ストッパーは、空車の時に有効であっても幼児や、荷物を乗せた時には、信頼できるものではありません。

- ⚠注意：ベビーカーを離れるときは、必ずストッパーをかけてください。



- ⚠注意：ベビーカーを離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。

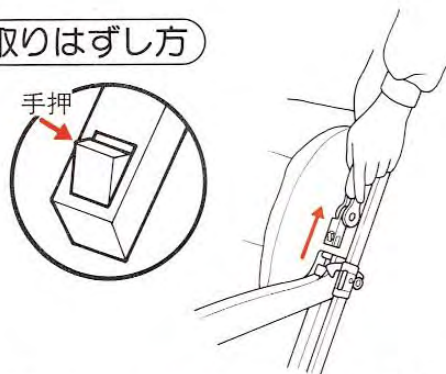
日除けの使い方

取り付け方



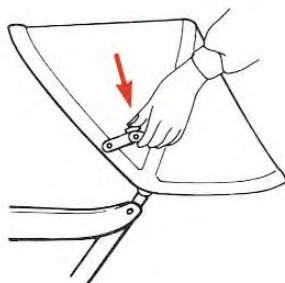
- 左右の日除けブラケットを穴に片方ずつ差し込んでください。

取りはずし方



- 日除けをもち日除けブラケットの手押を指で押しながら上へ引き抜いてください。

開き方



- ① 日除けの前後を持って開きます。
- ② 日除け後は、左右の日除けハジキを下に押ししてロックしてください。

△注意：後座席の日除けを閉じる時は、左右の日除けハジキを上引き、たたみます。

リクライニングの方法

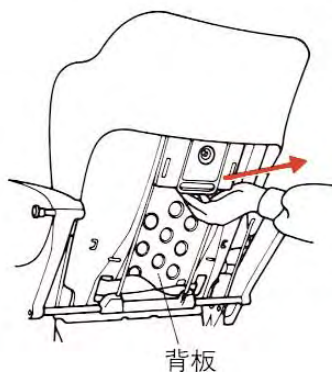
△注意：リクライニングの操作は、ストッパーをかけてからおこなってください。

△注意：リクライニングの操作後は、背板を後方向に押ししてロックされていることを確認してください。



(前座席)

- ① 背板の上部を持ち上げながら、後へ倒します。
- ② 適度な角度で止め、背板の上部を離し、使用してください。



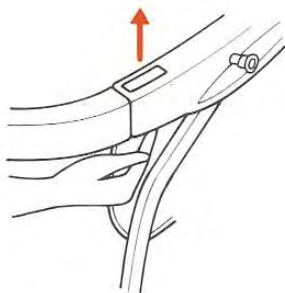
(後座席)

- ① リクライニングレバーを手前に引いてロックをはずします。
- ② 背板を倒し、適度な位置でリクライニングレバーを戻してください。
- ③ 背板を最後まで倒すとヘッドガードが起き上がります。

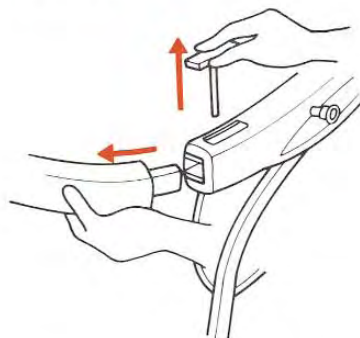
△注意：リクライニング角度は、後座席の座面まで、倒すことができます。

セーフティガードの使い方

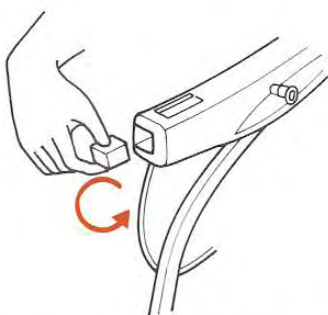
△注意：安全のため、セーフティガードを取りはずした状態での使用はさける。



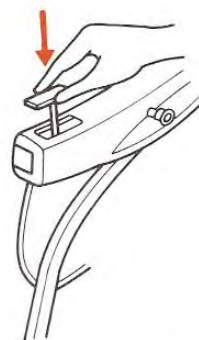
① アームレストの内側から指を当てて、ピンを押し上げます。



② ピンを抜き取り、セーフティガードをはずします。



③ アームレストにセットされているフタをうら返して、前後を逆にセットします。

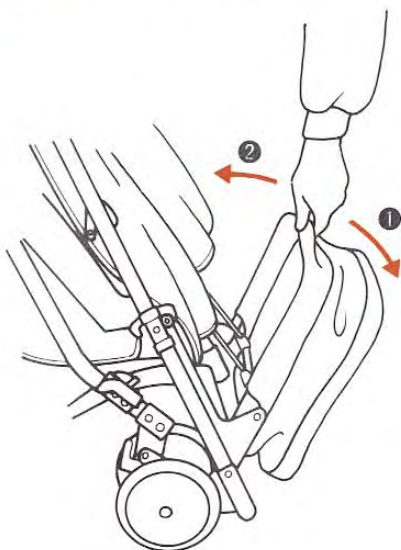


④ 抜取ったピンを差しもどしてください。

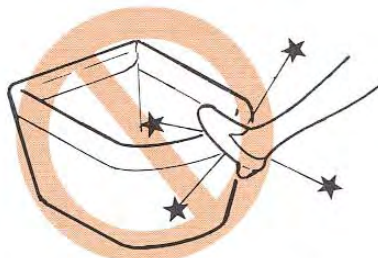
カゴの使い方

△注意：おのせになる荷物の重量は10kgまでです。

△注意：カゴには角のとがった物をのせますと、メッシュの部分を傷つけることがあります。



- ① カゴをお使いになれる時は、手でおろしてください。
- ② カゴをお使いにならない時は、手でカゴが止まるまで上げてください。



★ 上部外周ワクに極端に大きな力や衝撃を与えない。

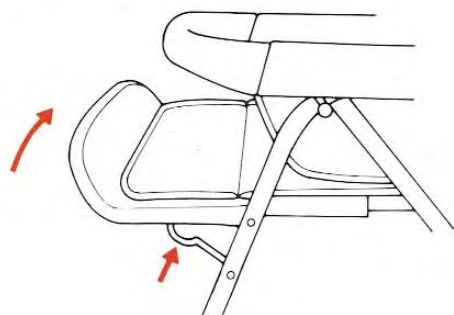


★ 荷物を上部外周ワクより上に出さない。

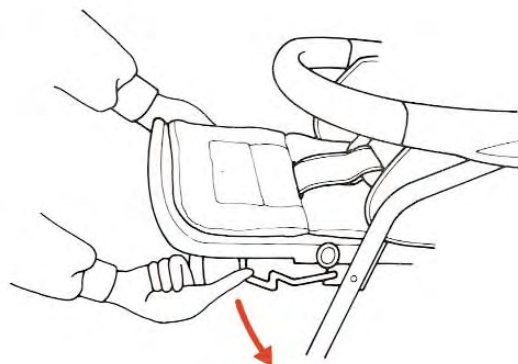
ステップの使い方

- △注意：ステップの高さ調整は前座席だけです。
- △注意：両側のリブに支持丸棒が確実に入っているか確認してください。

(前座席)



①ステップを上げる時は、ステップの中央部を持ち上げてください。

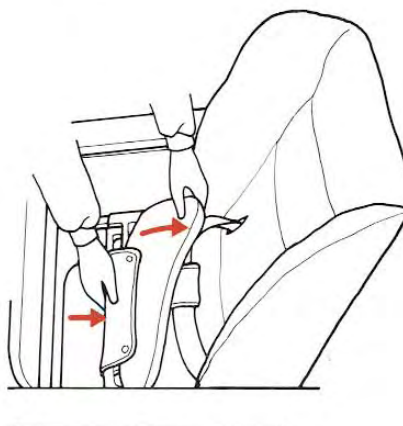
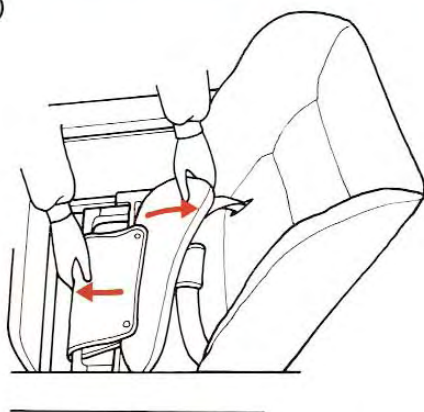


②ステップを下げる時は、人差し指でステップを少し持ち上げ、親指でステップ丸棒を下に押し下げながら下げてください。

足のせの使い方

- △注意：足のせは後座席だけです。

(後座席)



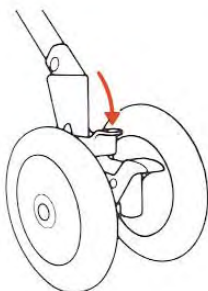
- 後座席のシートを一度持ち上げて座席から引き出してください。
(引出しを収納する時も同じ手順です。)

車体の折りたたみ方

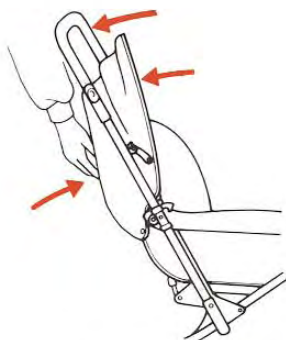
⚠注意

車体を折りたたむ前に、

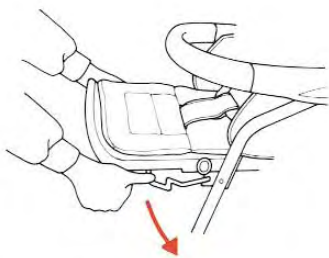
- 腰ベルトの左右をセットする。車体にかみこむことがある。
- キャスターを後側にロックする。(①図と同じ方向)
- カゴに何も入っていない事。



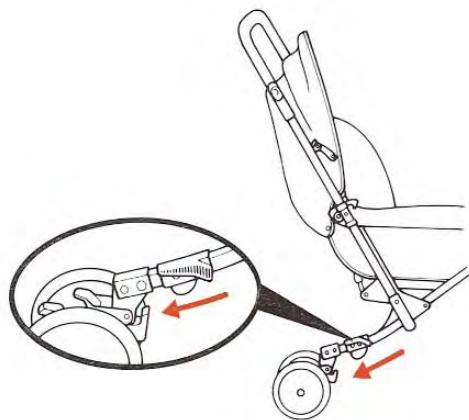
- ① 前・後4ヶ所のキャスターをロックします。



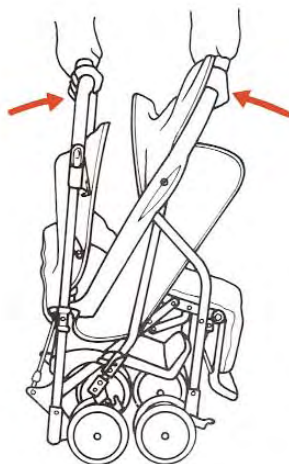
- ② ハンドルを背面位置にし、前・後座席の日除けをたたんで、前・後座席のリクライニングを起こします。



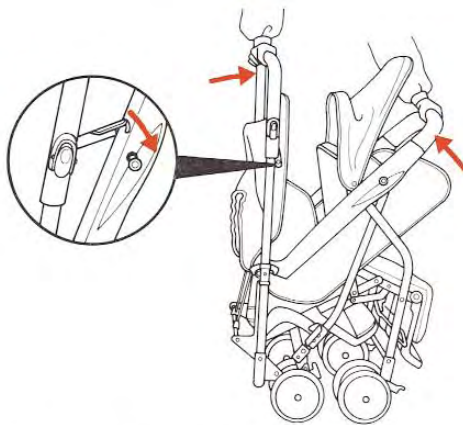
- ③ 前座席のステップを最下段の位置にもどしてください。



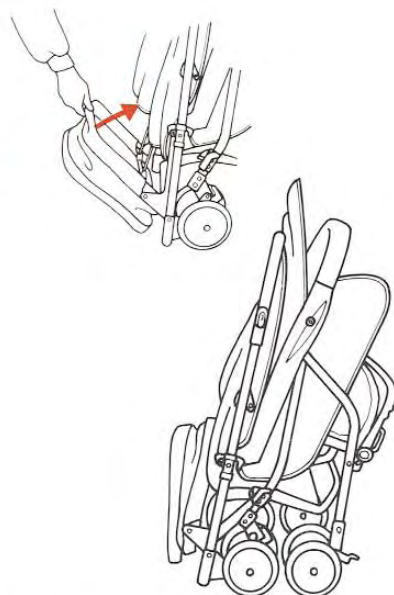
- ④ 両サイドの開閉ロックレバーを足で矢印の方向に引きます。



- ⑤ 前ガードとハンドルを持ち、絵のように折りたたみます。



- ⑥ 折りたたみロックレバーをしっかりと掛けます。

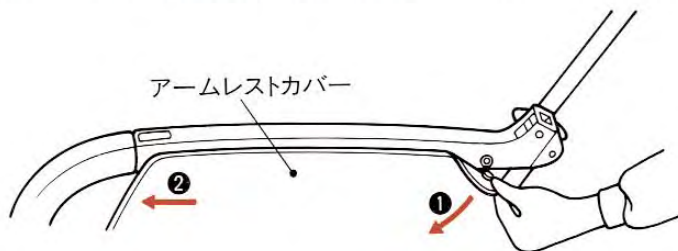


- ⑦ 最後にカゴを矢印の方向に収納してください。

お手入れ方法

アームレストカバーのはずし方

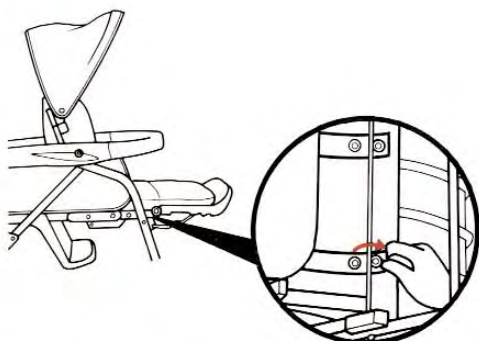
△注意：アームレストカバーをはずしたまま、赤ちゃんをベビーカーに乗せないでください。



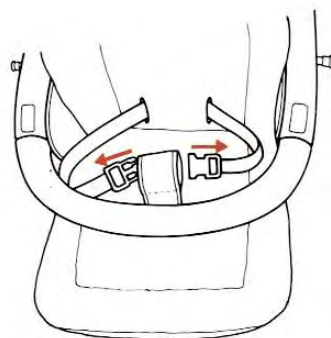
- ①アームレストカバーの後部を内側に引きホックをはずしてください。
- ②アームレストカバーを前方にスライドさせると取りはずせます。

シート・股ベルトのはずし方

(前座席)



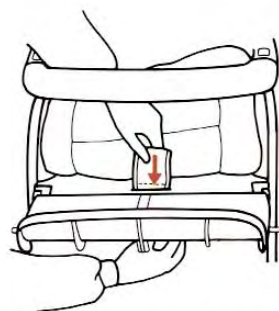
- ①前座席裏の前の丸棒に取り付けてあるベルトのホックをはずします。



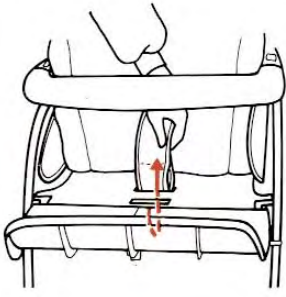
- ②腰ベルトのバックルをはずし、股ベルトから抜きます。



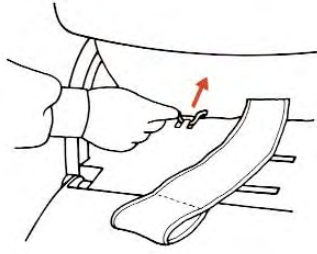
- ③シートを持ち上げて股ベルトをシートから抜きます。



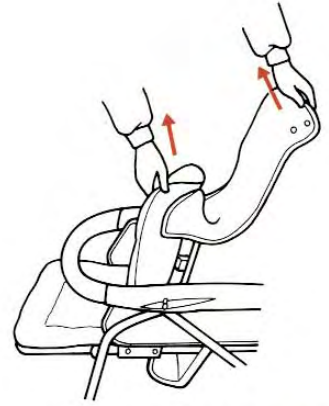
- ④座席にも股ベルトが通っているなので、股ベルトを下に引き抜きます。



⑤ 股ベルトを引き上げて、座席から取りはずします。

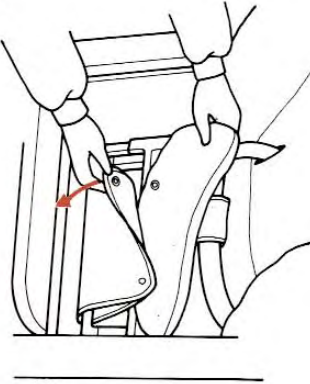


⑥ 座席の後方にあるフックからベルトをはずします。

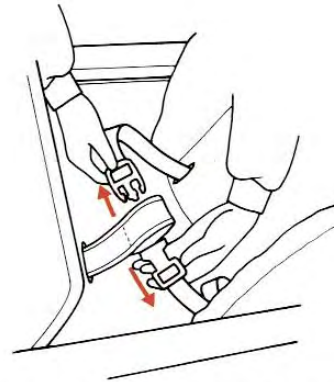


⑦ シートの腰ベルト穴から腰ベルトを抜き取って、シートを引き上げてください。

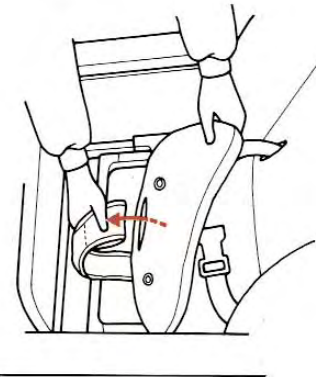
(後座席)



① シートを持ち上げ引き出し布のフックをはずします。



② 腰ベルトのバックルをはずして股ベルトから抜きます。



③ 股ベルトをシートから抜きます。(前シートと同様に座席からも抜き取ります。)



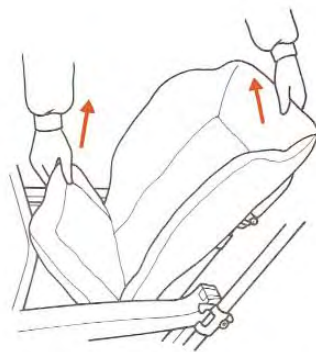
④ 腰ベルトをシートから抜きます。



⑤座席の後方にあるフックからベルトをはずします。



⑥背板のフックに掛けてあるゴムをはずします。

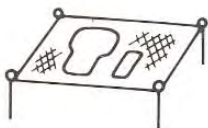


⑦シートを引き上げます。

縫製品のお手入れ

★縫製部品は、消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれ、汚れ等の場合は交換ください。

■シート、股ベルト、腰ベルトの洗浄について



★ネット等があれば、ネットの上に広げて乾燥させてください。

■日除け、カゴ、アームレストカバー、足カバーの洗浄について

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコ等)の場合40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れ個所を十分に洗います。その後、冷水(25℃以下)にて汚れた個所をタオルで洗います。十分に水分を取って天日にて乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズ等)の場合40℃前後の湯に中性洗剤を約5%溶解(1ℓの湯に50cc)し、汚れ個所をブラシ又はスポンジにて軽く洗います。その後、冷水又は温水にて十分に中性洗剤液を洗い流します。乾いたタオルにて水分を取り、天日にて乾燥させます。

車体のお手入れ

★当製品は屋外で使用するため、適時、お手入れが必要です。

★車輪は、消耗品です。タイヤの厚みが約5mm位に減った時には交換してください。

■車輪のお手入れについて

- 屋外で使用するため、車輪についた泥は、そのまま放置しないで必ず落としてください。泥は、水洗いをして泥を落としてから、水分をふきとります。

△注意：シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しない。

■前後フレームのお手入れについて

骨組みのパイプは特殊加工をほどこしたアルミニウムを使用しております。

屋外で使用するため、フレームについた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずふきとってください。ふきとりには、よくしぼったぬれタオルを使用します。

△注意：ふきとりには、シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しない。

■ネジ、ナット類について

ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検のうえゆるみが生じた場合は、キッチリ締めてください。



■注油について

- 注油の前には、水洗いをして、泥やほこりを落してから、水分をふきとってください。

- 注油は、1ヶ所につき数滴にしてください。

△注意：注油後、開閉操作を2・3回行います。

- キャストがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合

下図の⇒箇所(キャスト回転部及び車軸部及びフレーム連結部等)に少量注油(マシン油、ミシン油)してください。

- 車体を折りたたんだり、開くとき、スムーズにいかない場合

⇒箇所に少量注油(シリコンオイル)してください。



万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受けてください。

アフターサービスについて

ご使用中に万一故障等が発生したり、点検中に発見した部品の交換又は修理の必要が生じた場合、ベビーカーに衝突・落下等、急激な力が加わった場合及び、その他異常を感じた場合は、使用を中止してお買求めの店又は、当社サービス係までご連絡ください。

〈アフターサービスについての連絡先〉

アプリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アプリカ 奈良サービスセンター ☎ (0743) 84-2050

廃棄方法

地球環境のため、放置はしないでください。

おすまいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

